

# marantz®

Model SA-14 取扱説明書

---

Super Audio CD Player



*SUPER AUDIO CD*

COMPACT  
**disc**  
DIGITAL AUDIO

マランツのスーパーオーディオCDプレーヤーをお買い上げいただき、ありがとうございます。

ご使用の前に、この取扱説明書をお読みにになり、正しくお使いください。

お読みにになったあとは、「保証書」とともに大切に保存してください。

なお、お買い上げいただきました製品は、厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、ご不審な箇所などありましたら、お早めにお買上店、または、この取扱説明書の裏面に記載の最寄りの日本マランツ(株)各営業所、出張所にお問い合わせください。

## 付属品

製品を箱から出したらまず下記の付属品がそろっているか確認してください。

- リモコン (RC-14SA)..... 1 個
- 単四乾電池 (SUM-4)..... 2 個
- アナログ接続コード (ピンプラグ×2 (白、赤) ピンプラグ×2 (白、赤))..... 1 組
- リモート接続コード (ピンプラグ×1 (オレンジ) ピンプラグ×1 (オレンジ))..... 1 本
- 電源コード ..... 1 本
- 保証書 (箱に貼付)..... 1 枚
- 取扱説明書 (本書)..... 1 冊

## 目 次

本機の特長 .....	2
スーパーオーディオCDについて .....	2
本機で再生できるディスクについて .....	2
安全上のご注意 .....	3
ディスクの取扱い方 .....	6
ご使用の前に .....	6
使用上の注意 .....	7
リモコンの使用について .....	7
接続方法 .....	8
各部の名称と使い方 .....	9
通常の演奏のしかた .....	12
サーチ/スキップ .....	13
リピート .....	13
ランダム演奏 .....	13
プログラム演奏 .....	14
BALANCED 端子について .....	15
フィルタースイッチについて .....	15
CD-RW ディスク再生について .....	15
故障とお考えになる前に .....	16
保証・アフタサービスについて .....	16
仕様 .....	17
お手入れ .....	18

## 本機の特長

本機はスーパーオーディオCDの開発者であるフィリップス/マランツが発売するスーパーオーディオCDプレーヤーであり、スーパーオーディオCDの持つサウンドパフォーマンスを高度に再生するプレミアムシリーズモデルです。主に次のような特長があります。

- 新採用のDEM(ダイナミック エLEMENT マッチング)方式スーパー-DAQ(CS4397×2)によりDSD/CD信号を高精度に高音質アナログ信号に変換するD/Aコンバーター部
- ディファレンシャル構成 HDAM によるローノイズ低歪フィルタ回路と高速電流帰還型送り出しアンプ(アンバランス出力)
- ローノイズ低出力インピーダンスバランス出力回路
- メイン電源トランスに銅メッキカバーでシールドされた、大容量、低漏洩磁束のスーパーリング・トロイダルトランスを採用し、表示管専用で別トランスを採用することで、オーディオ回路へのノイズ流入をシャットアウト
- 高剛性、高精度の亜鉛ダイカスト製メカ・シャーシ&アルミダイカスト・ディスクトレイを、2層構造のダブルボトムシャーシが堅固に固定
- アルミブロック材、肉厚アルミ板をぜいたくに使用した、エレガントで高級感溢れるデザイン
- アルミトッププレートを採用したスタイリッシュなりモコン
- CD-R/CD-RW ディスク再生対応

## スーパーオーディオCDについて

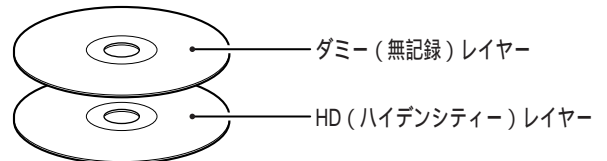
スーパーオーディオCDは、CDのライセンスであるオランダのフィリップス社とソニー社が共同で開発、規格化した次世代オーディオディスクフォーマットです。従来のCDに代表されるデジタルオーディオ記録であるPCM(Pulse Code Modulation)方式に比べ、単位時間当たり約4倍の情報量をもつDSD(Direct Stream Digital)方式で記録されており、理論上100kHzを超える広い再生周波数と可聴帯域内での120dBのダイナミックレンジを確保しています。また、最大255曲、109分までの収録が可能となっています。

## 本機で再生できるディスクについて

本機では以下の4種類のディスク再生が可能です。(レーベル面を上に見た時)

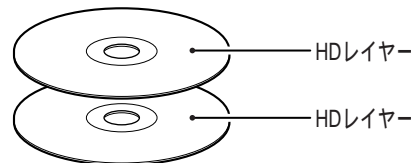
### 1. スーパーオーディオCD (シングルレイヤーディスク)

スーパーオーディオCDは2層構造になっており、スーパーオーディオCDの信号が記録されている層をHD(ハイデンシティ)レイヤーといいます。シングルレイヤーディスクはスーパーオーディオCDの信号のみが記録されています。



### 2. スーパーオーディオCD (デュアルレイヤーディスク)

HDレイヤーが2層になっているディスクで長時間再生が可能です。半透過膜で作られていますのでディスクを裏返すことなく2層の再生が可能です。なお、再生層の切り替えは自動で行われます。



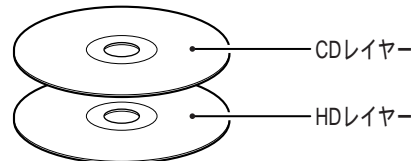
### 3. CD/CD-R/CD-RW (CD-DAフォーマット記録のもの) (従来の音楽CD)

現行の音楽CDです。



### 4. ハイブリッドディスク (スーパーオーディオCD + CD)

従来のCDにスーパーオーディオCDのHDレイヤーが追加されたディスクです。本機ではこのディスクを読み込んだ場合、優先的にスーパーオーディオCDのHDレイヤーを再生します。CDレイヤーを再生したいときは、停止中に本体またはリモコンの[SACD/CD]ボタンを押してCD層に切り替えてください。



スーパーオーディオCDには従来のCDと同様の2チャンネルステレオと5あるいは6チャンネルのマルチチャンネル方式があります。本機ではステレオ方式記録のみ再生可能です。マルチチャンネル信号のみが記録されたディスクには対応していません。このようなディスクを読み込んだ場合、表示窓に「CAN T RD (CAN T READの意)」と表示します。

# 安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。

## 絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



### 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。  
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。  
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。



記号は注意を促す内容があることを告げるものです。  
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は指をはさまれないように注意)が描かれています。

## 警告



電源プラグをコンセントから抜け

万一、煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。

万一内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

万一機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



水場での使用禁止

風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



接触禁止

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。

この機器に水が入ったり、ぬらさないようご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

この機器のディスク挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。

乾電池は、充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。



電源プラグをコンセントから抜け

万一、この機器を落したり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



この機器を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2cm以上、背面から5cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。



分解禁止

この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



警告



注意



調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目にあたると視力障害を起すことがあります。

この機器の上にテレビやオーディオ機器などを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。

指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池は、金属性のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。電池のプラス端子⊕とマイナス⊖端子の間がショートし、電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてしないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

この機器の上に5kg以上の重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



注意

オーディオ機器等を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。



電池を機器内に挿入する場合、極性表示プラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。



電源プラグをコンセントから抜け

旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



指を挟まれないよう注意

お子様がディスク挿入口に、手を入れないようご注意ください。けがの原因となることがあります。



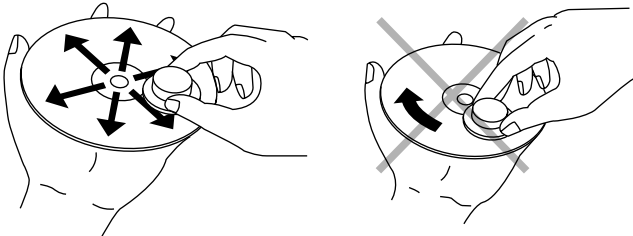
長期間使用しないとき、電池を取り出しておいてください。電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

## ディスクの取扱い方

ディスクの表面にキズをつけないよう大切に扱ってください。

### ディスクの表面はいつもきれいに

ディスクの表面をふく時は必ず専用のクリーナーを使用して図のようにふいてください。

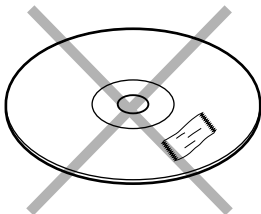


放射状方向に  
ふいてください。

円周方向には、  
ふかないでください。

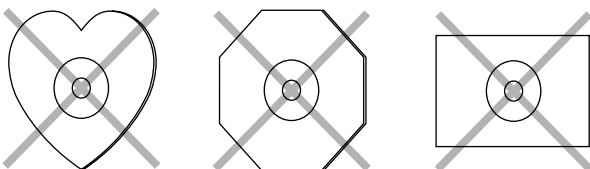
### ディスクのレーベル面に紙やシールを貼らないでください。

ディスクにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままプレーヤーにかけるとディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。



### 特殊な形のディスクは使用しないでください。

ハート型、八角形、名刺型など特殊形状のディスクは使用しないでください。取り出せなくなったり、機器の故障の原因となることがあります。



### ディスクを大切にするため次のような場所に置くことは避けてください。

- 直射日光を受けたり、暖房器具などの発熱体に近い場所
- 湿気やホコリの多い場所
- 窓ぎわで雨などかかるおそれのある場所

ディスクはケースに入れて正しく保管しましょう。

## ご使用の前に

### 設置場所

本機を長くご使用いただくために、次のような場所には設置しないでください。

- 直射日光を受けたり、暖房器具などの発熱体に近い場所
- 風とおしが悪く、湿気やホコリの多い場所
- 振動や傾斜のある不安定な場所
- 窓ぎわで、雨などがかかるおそれのある場所
- その他、特に温度の高いところ
- アンブ等の発熱の多いものの上において長時間使用しますと、プレーヤーのピックアップ部分に使用しているレーザーダイオードが熱の影響を受けやすくなりますので、アンブ等の発熱の多いものの上に置いて使用することは避けてください。

### ご使用いただく電源電圧・周波数

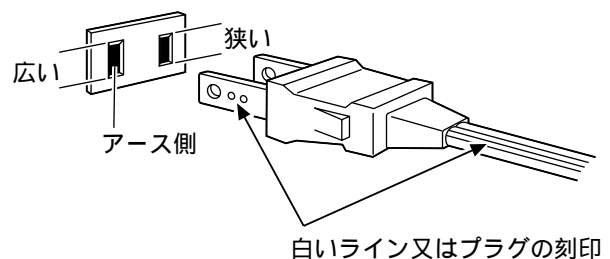
- 電源電圧は、交流 100V をご使用ください。
- 電源周波数は、50Hz 地域、または 60Hz 地域どちらでも使用できます。

### 電源コードの取扱い

- 濡れた手で触れないでください。
- 電源コードは、かならずプラグを持って抜いてください。コードを強くひっぱたり、折曲げたりしますと、コードがいたみ、感電や火災の原因になります。
- お出かけ前には、かならずプラグを抜く習慣をつけましょう。

### 電源コードの極性

- 家庭用電源コンセントの幅の広い側はアース側とされ、通常は地面に接続されています。極性を合わせなくても動作に差し支えありませんが、図のように電源コードの白いライン(又は白いラインの無いものはプラグの刃に刻印の有る方)をアース側に接続することで音質が向上します。しかし、ご家庭の環境によっては逆に接続した方が音質的に良いこともありますので、ご確認の上、最適な方向に接続してください。



接続の際には必ず電源スイッチを  
OFFにしてください。

### セット内部の修理

- 注油しますと故障の原因になりますのでさけてください。
- 専門知識を持つ技術者以外の方は、ピックアップ部分及びセット内部の修理は行わないでください。

## 使用上の注意

- 冬、暖房のきいた部屋の窓がくもったり水滴がついたりする。この現象を結露といいます。スーパーオーディオCDプレーヤーは、光学レンズを使用していますので次のような場合に結露が起きることがあります。
  - ・ 暖房開始直後の部屋
  - ・ 湿気が多い部屋
  - ・ 寒いところから、急に暖かい部屋に持ち込んだときこのようなときは、曲数の読み込みができず、プレーヤーが誤動作することがありますので30分位待ってから使用してください。
- 本機がチューナーやテレビに妨害を与えることがあります。このようなときは、チューナーやテレビとの距離を離して設置してください。
- アナログ式レコードに比べ非常にノイズが少なく、演奏がはじまるまでノイズは殆ど聴き取れません。アンプのボリュームを上げすぎますと他のオーディオ機器を破損することがありますので、ご注意ください。
- 本機はスーパーオーディオCD(ステレオ)または従来の音楽CD専用のプレーヤーです。パソコン用のCD-ROMや、ゲームCD、ビデオCD、DVD(ビデオ/オーディオ)、DTS-CD、などは再生できません。

## リモコンの使用について

### 乾電池の取り扱い方

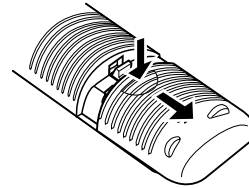
乾電池を誤って使用すると液漏れや破裂などの危険がありますので、次の点について特にご注意ください。

- 乾電池のプラス+とマイナス-の向きを機器の表示通り正しく入れてください。
- 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池は同じ形状のものでも電圧の異なるものがありますから、種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池には充電式と充電式でないものがあります。乾電池の表示をよく見てご使用ください。

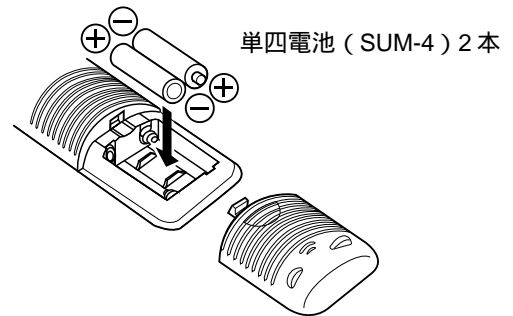
## 電池の入れ方

このリモコンの電池の寿命は、普通の使い方です約1年です。長い間リモコンを使わないときは、電池を取り出しておいてください。また弱ってきた電池は、早めに交換してください。

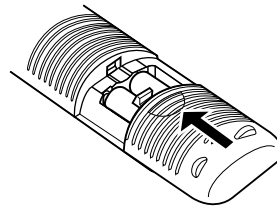
- ① 裏ぶたをはずす。



- ② 電池の⊕ ⊖ を正しく入れる。



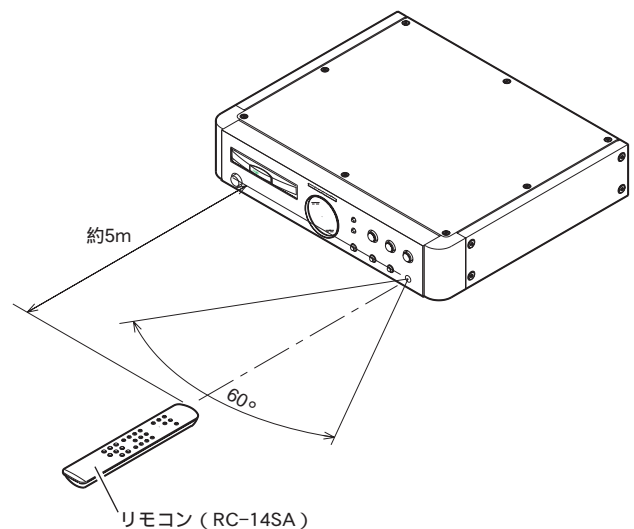
- ③ カチッと音がするまでしめる。



## リモコンの使用できる範囲

リモコン(RC-14SA)と本機(SA-14)の赤外線受光窓との有効距離は約5m以内です。リモコンの送信窓を受光窓と違う方向に向けたり、送信窓と受光窓の間に障害物があると、操作できないことがありますのでご注意ください。

スーパーオーディオCDプレーヤー (SA-14)

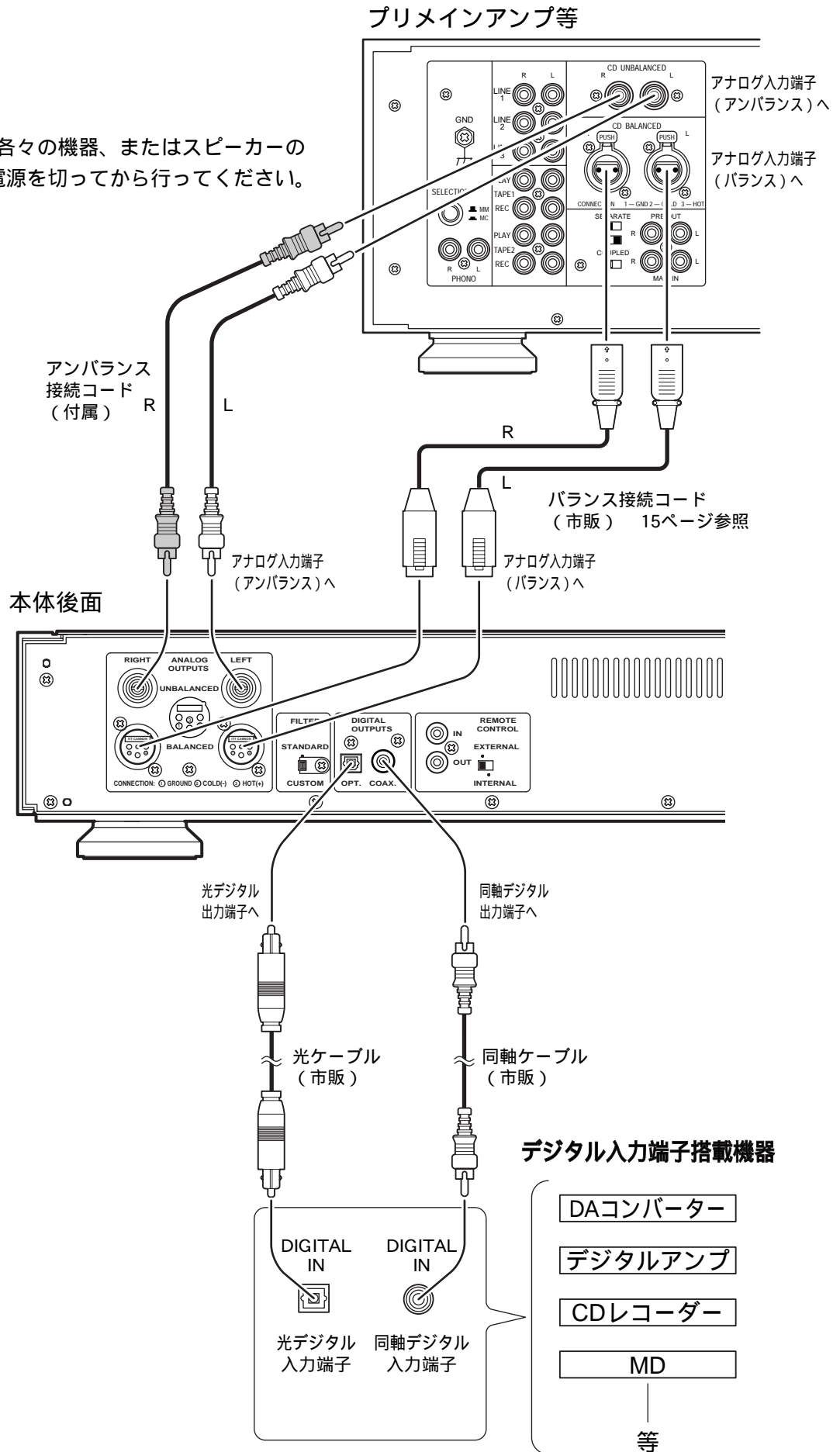




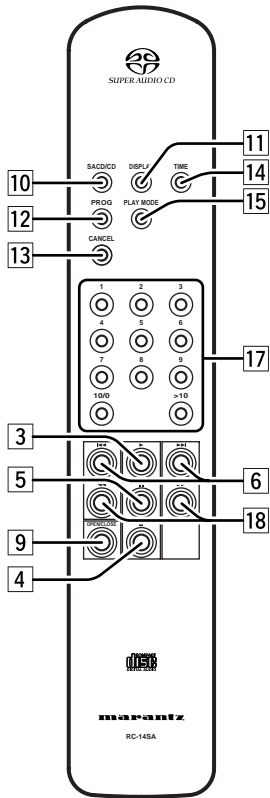
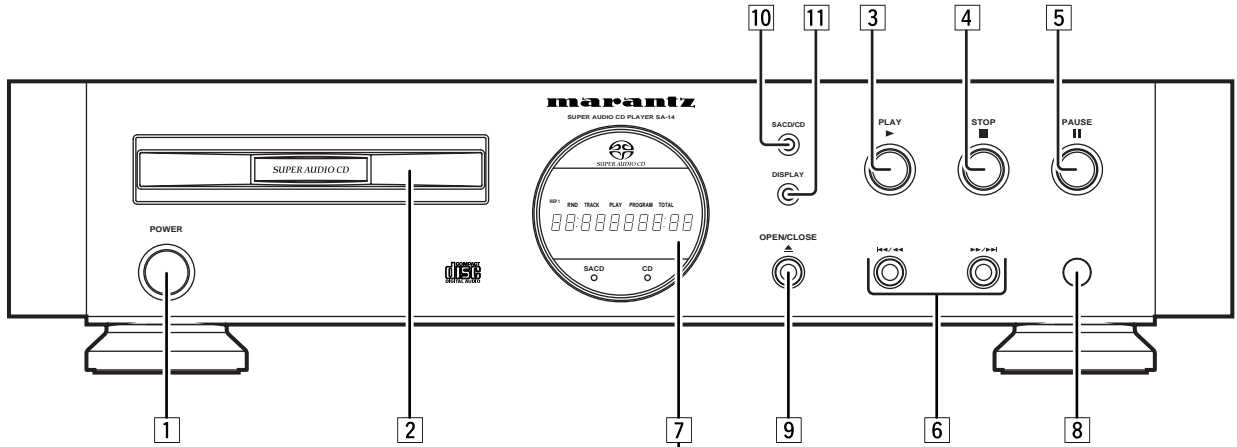
# 接続方法

## ご注意

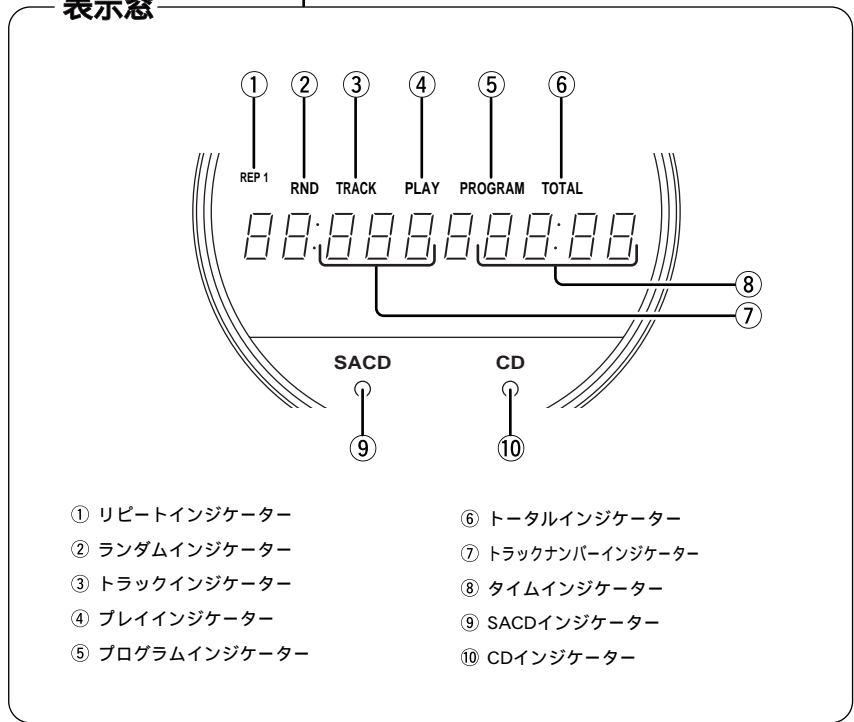
接続するときは、各々の機器、またはスピーカーの保護のため、必ず電源を切ってから行ってください。



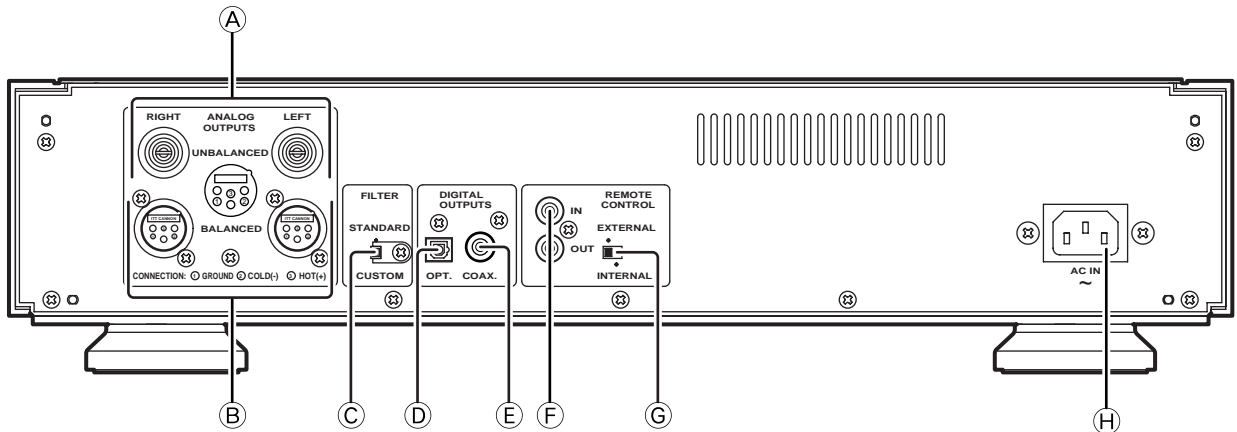
# 各部の名称と使い方



## 表示窓



- |               |                  |
|---------------|------------------|
| ① リピートインジケータ  | ⑥ トータルインジケータ     |
| ② ランダムインジケータ  | ⑦ トラックナンバーインジケータ |
| ③ トラックインジケータ  | ⑧ タイムインジケータ      |
| ④ プレイインジケータ   | ⑨ SACDインジケータ     |
| ⑤ プログラムインジケータ | ⑩ CDインジケータ       |



## 前面

### 1 POWER (電源スイッチ)

スイッチを押すと電源が入り、もう一度押すと切れます。

### 2 ディスクトレイ

### 3 PLAY (プレイボタン)



演奏を始めるときに押します。また、一時停止を解除するときにも押します。

### 4 STOP (ストップボタン)

演奏を停止するときには押します。またプログラムを確定するときにも使います。


### 5 PAUSE (ポーズボタン)


演奏を一時停止するときには押します。

解除するときにはもう一度  PAUSE ボタンを押すか  PLAY ボタンを押します。

### 6 (トラックスキップ/サーチボタン)

本体のみトラックスキップボタンとサーチボタンが兼用になっています。

 : ボタンを押した回数だけ次の曲に進みます。また、ボタンを押しつづけるとサーチ(早送り)になります。

 : ボタンを押すと演奏中の曲の頭に戻ります。さらに続けてボタンを押すと、押した回数だけ前の曲に戻ります。また、ボタンを押しつづけるとサーチ(早戻し)になります。

### 7 表示窓

動作状態を表示します。

#### ① リピートインジケータ

リピート演奏のときに点灯します。( 13 ページ)

#### ② ランダムインジケータ

ランダム演奏のときに点灯します。( 13 ページ)

#### ③ トラックインジケータ

演奏中に点灯し、⑦の部分に曲番号を表示します。

#### ④ プレイインジケータ

演奏中に点灯します。

#### ⑤ プログラムインジケータ

プログラム演奏時に点灯します。( 14 ページ)

#### ⑥ トータルインジケータ

総残り時間を表示するときに点灯します。( 12 ページ)

#### ⑦ トラックナンバーインジケータ

停止時にはディスクの全曲数を、演奏時は演奏中の曲番号を表示します。

#### ⑧ タイムインジケータ

停止時にはディスクの総演奏時間を、演奏時は演奏中の曲の経過時間等を表示します。

#### ⑨ SACD インジケータ

スーパーオーディオ CD を読み込むと点灯します。

ハイブリッドディスク( 2 ページ)では優先的にスーパーオーディオ CD 層を読み込みます。

#### ⑩ CD インジケータ

従来の音楽 CD を読み込むと点灯します。またはハイブリッドディスクで CD 層を読み込んだときに点灯します。

### 8 REMOTE SENSOR (リモートセンサー)

リモコンからの信号を受ける窓です。( 7 ページ)

### 9 OPEN/CLOSE (オープンクローズボタン)

このボタンを押すと、ディスクトレイが開きますので、レーベル面を上にしてディスクを置いて下さい。もう一度押すと閉まります。

### 10 SACD/CD (SACD/CD ボタン)





ハイブリッドディスクで演奏する層を変えるときに押します。( 2 ページ)

停止時にのみ可能です。演奏中に切り替えることはできません。


### 11 DISPLAY (ディスプレイボタン)

表示窓の点灯、消灯を切り替えます。


## リモコン



- 3  (プレイボタン)
- 4  (ストップボタン)
- 5  (ポーズボタン)
- 9  (オープンクローズボタン)

- 10  (SACD/CD ボタン)

- 11  (ディスプレイボタン)

上記のボタンは本体前面のそれぞれのボタンと同じです。  
「前面」の各項を参照してください。


- 6 、 (トラックスキップボタン)

-  : ボタンを押した回数だけ次の曲に進みます。
-  : ボタンを押すと演奏中の曲の頭に戻ります。  
さらに続けてボタンを押すと、押した回数だけ前の曲に戻ります。

リモコンではサーチボタンは分かれています。18 サーチボタンを使用してください。

- 12  (プログラムボタン)

プログラム演奏をするときに押します。( 14 ページ)

- 13  (キャンセルボタン)

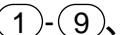
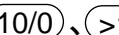

プログラムした曲を取り消すときに使います。( 14 ページ)

- 14  (タイムボタン)

時間表示を切替えるときに押します。押すたびに  
“ 曲の経過時間 ” “ 曲の残り時間 ” “ 総残り時間 ”  
“ 曲の経過時間 ” と切替わります。( 12 ページ)



- 15  (プレイモードボタン)

リピート演奏やランダム演奏をするときに押します。押すたびに  
“ 全曲リピート ” “ 1 曲リピート ” “ ランダム演奏 ”  
“ 解除 ” と切り替わります。( 13 ページ)

- 17 、、 (数字ボタン)

ダイレクトに曲番を指定したいときに使用します。  
( 13 ページ)

- 18 、 (サーチボタン)

-  : 演奏中、このボタンを押している間だけ早戻しします。
-  : 演奏中、このボタンを押している間だけ早送りします。

## 後面

- A ANALOG OUTPUT UNBALANCED  
(アナログ出力端子 アンバランス)

アナログ音声信号のアンバランス出力端子です。アンプのCD、AUX端子等に付属のアナログ接続コードでつなぎます。L、Rチャンネルどうし正しく接続してください。  
アンプのPHONO端子には絶対につながらないでください。

- B ANALOG OUTPUT BALANCED  
(アナログ出力端子 バランス)

アナログ音声信号のバランス出力端子です。アンプのバランス入力端子に市販のバランス接続コードでつなぎます。L、Rチャンネルどうし正しく接続してください。  
( 15 ページ)

- C FILTER STANDARD/CUSTOM  
(フィルタースタンダード/カスタムスイッチ)

接続するアンプやスピーカーによって切り替えます。  
詳しくは15ページ「フィルタースイッチについて」を参照してください。

スイッチの切り替えは演奏の停止中に行ってください。  
演奏中にスイッチを切り替えるとノイズが発生する恐れがあります。

- D DIGITAL OUTPUT OPTICAL  
(光デジタル出力端子)

再生信号をデジタル出力します。光デジタル入力端子のある録音機器やアンプ、D/Aコンバーター等と市販の光ケーブルで接続します。

光デジタル出力端子からはCDの信号のみ出力されます。スーパーオーディオCDの信号は出力されません。

- E DIGITAL OUTPUT COAXIAL  
(同軸デジタル出力端子)

再生信号をデジタル出力します。同軸デジタル入力端子のある機器と市販の同軸ケーブルで接続します。

同軸デジタル出力端子からはCDの信号のみ出力されます。スーパーオーディオCDの信号は出力されません。

- F REMOTE CONTROL IN/OUT  
(リモートコントロール入出力端子)

本機を当社のD-BUS対応オーディオ機器と付属のリモート接続コードで接続することにより、システムでのリモートコントロールができます。

- G INTERNAL / EXTERNAL  
(インターナル/エクスターナルスイッチ)

本機を単独で使用する場合はINTERNAL側に、当社のD-BUS対応のリモートセンサーを搭載しているオーディオ機器とリモート接続コードで接続し、システムとして使用する場合は、EXTERNAL側にセットしてください。

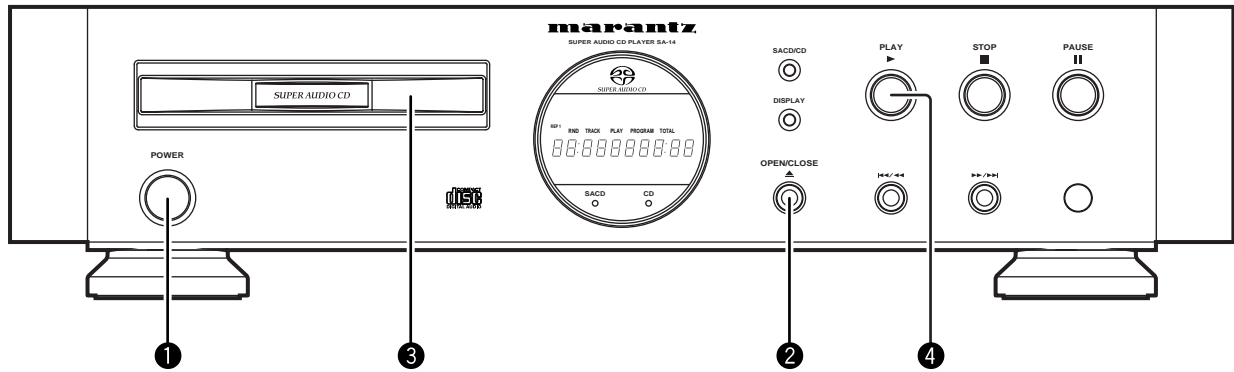
**本機を単独で使用する場合にEXTERNAL側にセットし  
てあるとリモコンが使用できなくなります。**

- H 電源コード接続端子

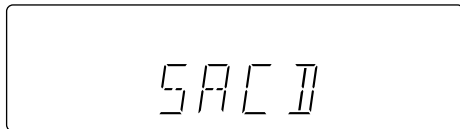
付属の電源コードを使用して、家庭用AC100Vコンセントに接続してください。

説明書本文中でリモコンのみで操作できる機能があります。ボタン類の説明で本体とリモコンでどちらでも操作できる場合は□の中にボタン名を表示し、リモコンのみで操作をする場合は○の中にボタン名を表示しています。

# 通常の演奏のしかた



- 1 POWER スイッチを押し電源を入れます。



- 2 **▲ OPEN/CLOSE** ボタンを押します。

ディスクトレイがでてきますので、そこにレーベル面を上にして、ディスクをのせます。

- 3 ディスクトレイの前面を軽く押します。

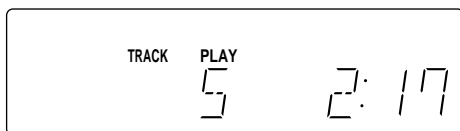
または **▲ OPEN/CLOSE** ボタンを押します。

- 4 **▶ PLAY** ボタンを押します。

ディスクの種類を自動的に判別し、演奏を始めます。ディスプレイには曲番・曲の演奏経過時間(分、秒)が表示されます。

SACD/CD のハイブリッドディスクの場合、優先的に SACD 層が演奏されます。CD 層を演奏したいときは一旦停止し、**SACD/CD** ボタンで CD 層に切り替えてください。

(例:5曲目、経過時間2分17秒の場合)



最後の曲の演奏が終わると、自動的に止まります。

もう一度最初の曲から演奏するには

**▶ PLAY** ボタンを押します。

演奏を停止するには

**■ STOP** ボタンを押します。

ディスクを取り出すには

**▲ OPEN/CLOSE** ボタンを押してディスクトレイを開き、ディスクを取り出し、もう一度押して閉じます。ディスクトレイの前面を軽く押しても閉まります。本機を使わないとき、ディスクトレイは必ず閉めておいてください。

演奏を一時停止するには

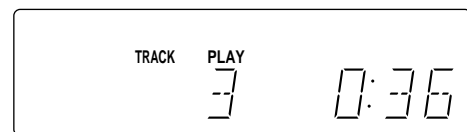
**|| PAUSE** ボタンを押します。時間表示が点滅し、演奏はボタンを押した所で一時停止されます。演奏を再開するにはもう一度 **|| PAUSE** ボタンを押すか **▶ PLAY** ボタンを押します。

時間表示を切り替えるには

**(TIME)** ボタンを押します。  
**(TIME)** ボタンを押すごとに時間表示は、“曲の経過時間” “曲の残り時間” “総残り時間” “曲の経過時間” の順に変わります。

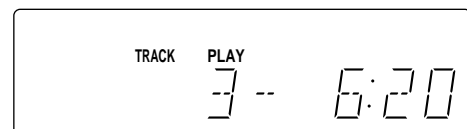
## ● 演奏経過時間

(例:3曲目を演奏中、0分36秒経過)



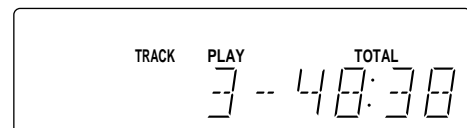
## ● 1 曲の残り演奏時間

(例:3曲目を演奏中、残り時間6分20秒)



## ● ディスクの総残り時間

(例:3曲目を演奏中、ディスクの総残り時間48分38秒)



## サーチ / スキップ

### ダイレクトサーチ(曲番を指定して演奏する)

数字ボタン(① ~ ⑨)、(10/0)、(>10)で曲番を指定します。

- 1~10曲目は直接希望の曲番を指定するとただちにサーチして演奏を開始します。

例) 3曲目 : ③ を押す。

10曲目 : (10/0) を押す。

- 11曲目以降は最初に(>10)を押してから続けて希望の曲番を指定します。

例) 12曲目 : (>10) を押し、続けて①、② と押します。

- 100曲目以降は最初に(>10)を2回押してから続けて希望の曲番を指定します。

例) 123曲目 : (>10)を2回押し、続けて①、②、③ と押します。

(>10) または ① のあと、10秒間次のボタンが押されないときは元の状態に戻ります。

### 数字ボタンを押し間違えたときは

もう一度、正しい数字を押します。

### トラック スキップ (⏮️ ⏭️)

#### 演奏中の曲より後の曲を聞くには

進めたい曲数分だけ ⏭️ ボタンを押します。

#### 演奏中の曲より前の曲を聞くには

演奏中に ⏮️ ボタンを1度押すとその曲の頭に移ります。続けて戻したい曲数分だけ ⏮️ ボタンを押します。

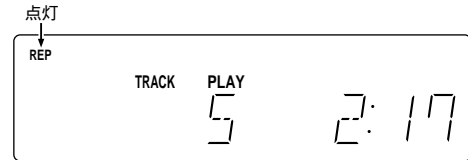
演奏中の曲の頭から約2秒以内に ⏮️ ボタンを押した場合は、その前の曲に移ります。

- 全曲リピートモードのときディスクの最初の曲で ⏮️ ボタンを押すと最後の曲に移り、最後の曲で ⏭️ ボタンを押すと最初の曲に移ります。

## リピート

### 全曲リピート(全曲を繰り返し聞く)

(PLAY MODE) ボタンを押します。



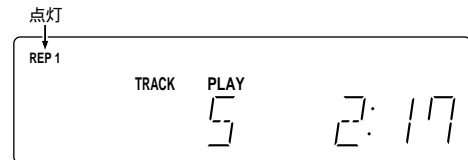
REPインジケータが点灯し、全曲を繰り返し演奏します。

#### 通常の演奏に戻るには

さらに (PLAY MODE) ボタンを3回押します。REPインジケータが消えてリピートモードは解除され、通常の演奏に戻ります。

### 1曲リピート(1曲だけを繰り返し聞く)

繰り返し聞きたい曲の演奏中に、(PLAY MODE) ボタンを2回押します。



REP 1インジケータが点灯し、その曲を繰り返し演奏します。

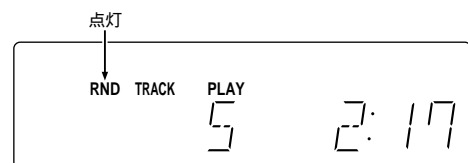
#### 1曲リピートをやめるには

(PLAY MODE) ボタンをさらに2回押します。

## ランダム演奏

本機が自動的に曲順を並べ変えて、全曲を演奏します。

(PLAY MODE) ボタンを3回押します。(リピートモードでないとき)



#### ランダム演奏を止めて、通常演奏に戻るには

もう一度 (PLAY MODE) ボタンを押します。

#### ランダム演奏中に ⏭️ ボタンを押すと

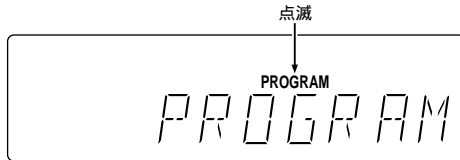
押すたびに本機が並べ変えた曲に移り、演奏を始めます。

# プログラム演奏

## プログラム(好きな曲を好きな順序で聴く)

(例:6曲目、14曲目の順にプログラムする場合)

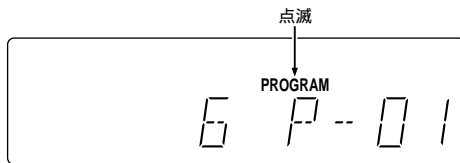
- ① ランダム演奏モードでない通常の停止状態で (PROG) ボタンを押すと、PROGRAMインジケータが点滅します。



この状態で30秒以内に②以降の操作がなされないときは自動的に停止状態に戻ります。

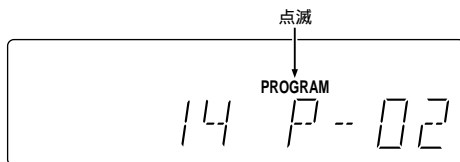
- ② 数字ボタンでプログラムする曲を選びます。

(例:6曲目を最初に選んだ場合)



- ③ 続いて希望の曲を“②”の手順を繰り返してプログラムします。

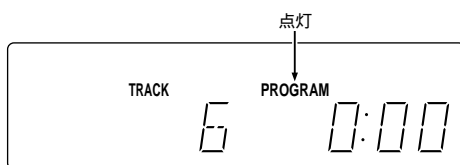
(例:2つ目に14曲目を選んだ場合)



- ④ 全てのプログラムが終わったら、[STOP] ボタンを押します。

PROGRAMインジケータが点滅から点灯になり、プログラムを確定します。

②～④のとき、10秒間次の操作がなされないとき自動的にプログラムを確定します。



- ⑤ [PLAY] ボタンを押すと、プログラムの最初からプログラムした順番に演奏します。

“③”の途中で [PLAY] ボタンを押してもプログラムが確定して演奏が始まります。

## プログラム内容を確認するには

停止中に [▶▶] ボタンを押します。

プログラムした曲 (TRACK 番号) がプログラムした順番で次々に表示されます。

## プログラムの追加をする場合

停止状態で (PROG) ボタンを押します。PROGRAMインジケータが点滅に変わり、プログラムを追加することができます。

## プログラムした曲を削除するには

- ① プログラム確定後ならば (PROG) ボタンを押してプログラム入力状態にします。
- ② 続いて (CANCEL) ボタンを押すと、最後にプログラムした曲から順番に削除されます。

## Q&A

### ● プログラムできる曲数は?

プログラムでは20曲まで演奏する曲を選ぶことができます。

### ● 繰り返しプログラム演奏を聞くには?

(PLAY MODE) ボタンを1回押してください。REPインジケータが点灯し、プログラム演奏が繰り返し聞けます。

### ● プログラムした曲を順不同で聞くには?

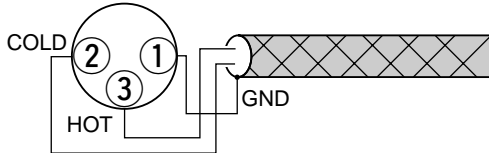
できません。

## BALANCED 端子について

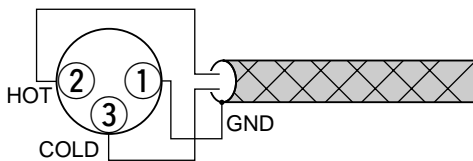
① BALANCED 端子にはXLRコネクターを使用しています。

② XLRコネクターの接続方法は、プロフェッショナル用としてタイプが二通りあります。

1. USA方式(②PIN=COLD ③PIN=HOT)



2. ヨーロッパ方式(②PIN=HOT ③PIN=COLD)



③ SA-14では、1.のUSA方式を採用しています。

XLR BALANCEDケーブルを使用する場合、ヨーロッパ方式を採用しているプリアンプやメインアンプで再生した場合、信号が逆位相になる場合があります。

その場合は、片側のXLRコネクターの②PINと③PINをUSA方式となるようにつなぎ換えてください。

これで信号は正しい位相で再生されます。

## フィルタースイッチについて

スーパーオーディオCDは可聴帯域を超える約100kHzという広い再生帯域をもつため、その信号には従来CDにない超高域成分が含まれています。従来のアンプではこれらの超高域成分を含んだ信号の再生を想定していないことが多く、スーパーオーディオCDの信号をそのまま出力すると、ノイズを発生したり、アンプの保護回路が働いたり、スピーカーを破損したりする可能性があります。

これらのことを防ぐために本機には超高域信号成分を減衰するフィルターが搭載されて(STANDARD)おり、事故防止のため工場出荷時にはSTANDARD側に設定されています。

スーパーオーディオCDに対応した新世代のアンプと接続される場合は、スイッチ横にあるネジを緩めてプロテクターを解除し、スイッチをCUSTOM側に設定して使用しますと、より周波数レンジの広い演奏をお楽しみ頂けます。

通常のアンプで使用する場合はスイッチをSTANDARD側で使用してください。アンプやスピーカーの故障の原因となることがあります。

スーパーオーディオCDに対応したアンプと接続されている場合でも、テープデッキなどにスーパーオーディオCDの音声を録音される時はスイッチをSTANDARD側に切り替えてください。

スイッチの切り替えは演奏の停止中に行ってください。演奏中にスイッチを切り替えるとノイズが発生する恐れがあります。

## CD-RW ディスク再生について

本機では従来の音楽CDやCD-R(Recordable)に加え、CD-RW(ReWritable)ディスクの再生も可能です。

- CD-RやCD-RWの再生では必ずTOC\*が正しく記録されている必要があります。CDレコーダーではTOC情報を書き込むことをファイナライズ(Finalize)といい、この作業が正常に完了していないディスクは、普通のCDプレーヤーでは音楽CDとして正しく認識されず再生することができませんので十分ご注意ください。詳しくはCDレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

\* TOC(トック)とはTable Of Contentsの略で、ディスクの総曲数や総演奏時間などの目次情報のことです。

- 再生できるのは音楽用のCD-DAフォーマットで記録されたディスクのみです。パソコン用CD-ROMなどデータが記録されたディスクは再生しないでください。
- CD-RWディスクを再生する場合、プレーヤーの設定を一部変更するため、音楽CDやCD-Rに比べTOCの読み込みに若干時間がかかることがあります。
- CD-R、CD-RWディスクでは、オレンジブックパートⅡ、Ⅲでフォーマットが規定されています。それぞれが互換性を保ち得るようになっておりますが、記録機とメディアならびに再生機との関係で一部再生できない場合もあります。



## 故障とお考えになる前に

故障かな?と思ったらちょっとチェックしてみてください。  
意外な操作ミスが故障とされていることがあります。下記の項目をチェックして直らない場合は、お買い上げになった販売店、お近くの日本マランツ(株)各営業所、又は当社サービスセンターにご相談ください。

### ディスクが回らない

1. 電源コードは正しく接続されていますか。
2. POWERスイッチはONになっていますか。
3. ディスクが正しい位置に入っていますか。
4. ディスクが裏表さかさまに入っていないですか。  
(ディスクのレーベル面が上になっていますか。)
5. ディスクに汚れがありませんか。
6. ディスクに傷がついていませんか。
7. ディスクが反っていませんか。

### ディスクは回るが音が出ない

1. アンプ・スピーカーの接続は正しいですか。
2. アンプの電源スイッチはONになっていますか。
3. アンプのファンクション又はセレクタースイッチが「CD」または「AUX」等(SA-14をあなたが接続したところ)に切り替えられていますか。
4. アンプのボリュームが最小になっていませんか。

### ディスクが途中で回らなくなり止まる、または音が途切れたり雑音が出る

1. ディスクが汚れていませんか。
2. ディスクに傷がついていませんか。
3. ディスクが反っていませんか。  
CD-R/CD-RWディスクのとき、書き込まれた状態が悪かったり、ディスク自体の品質が悪い場合このような症状が出る可能性があります。

### リモコン操作ができない

1. リモコン(RC-14SA)の送信窓が、プレーヤー(SA-14)の受光窓に正しく向けられていますか。  
また、この間に何か障害物はありませんか。
2. リモコンの電池が消耗していませんか。
3. プレーヤーの受光窓に他の強い光が当たっていませんか。

### スーパーオーディオCDが再生できない

1. ディスクに傷か汚れ、反りはありませんか。
2. ディスクは2チャンネルステレオのスーパーオーディオCDですか。

### CD-R/CD-RWディスクが再生できない

1. ディスクが裏表さかさまに入っていないですか。
2. 正しくファイナライズされ(TOCが書き込まれ)ていますか。
3. 記録されている情報が音楽用(CD-DA)フォーマットですか。

## 保証・アフターサービスについて

1. この商品には保証書を別途添付してあります。  
保証書は「販売店印・保証期間」をご確認の上、販売店からお受け取りいただき、よくお読みの上、大切に保存してください。
2. 本体の保証期間はお買い上げ日より1年間です。  
お買い上げ販売店又は弊社営業所で保証記載事項に基づき「無料修理」いたします。
3. 保証期間経過後の修理。  
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。
4. 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切後最低8年間保有しています。
5. 補修用部品の詳細・ご贈答・ご転居等アフターサービスについての不明な点は、お買い上げ販売店または取扱説明書の裏面に記載の弊社営業所に遠慮なくご相談ください。
6. 修理を依頼される際には、お手数ですがもう一度「故障とお考えになる前に」をご参照の上よくお調べください。それでも直らないときは、必ず電源プラグを抜いてから、次の処置をしてください。

### ご連絡いただきたい内容

- |           |                  |
|-----------|------------------|
| 1) 品名     | スーパーオーディオCDプレーヤー |
| 2) 品番     | SA-14            |
| 3) お買い上げ日 | 年 月 日            |
| 4) 故障の状況  | (できるだけ具体的に)      |
| 5) ご住所    |                  |
| 6) お名前    |                  |
| 7) 電話番号   |                  |

# 仕様

	スーパーオーディオCD	CD
<b>オ - ディオ特性</b> チャンネル 再生周波数範囲 周波数特性 ダイナミックレンジ 高調波歪率 (1kHz) ワウフラッタ - 音声出力 アンバランス バランス デジタル出力 ピンジャック 角型光コネクタ -( 光出力 )	2チャンネル 2Hz 100kHz 2Hz 50kHz (-3dB) 113dB 0.0015% 水晶精度  2.2V 4.3V  デジタル出力 ピンジャック 角型光コネクタ -( 光出力 )	2チャンネル 2Hz 20kHz 2Hz 20kHz 100dB以上 0.0020% 水晶精度  2.2V 4.3V  0.5Vp-p ( 75 ) -19dBm
<b>光学読み取り方式</b> レ - ザ - 波長	AlGaAs 650nm	AlGaAs 780nm
<b>信号方式</b> サンプリング周波数	2.8224MHz	44.1kHz

## 電源部

電源 ..... AC 100V 50/60Hz  
 消費電力( 電気用品取締法 ) ..... 21W

## キャビネット・その他

最大外形寸法( 幅 × 高さ × 奥行き ) ..... 458 × 110 × 392mm  
 質量 ..... 11.8kg  
 許容動作温度 ..... +5 ~ +35  
 許容動作湿度 ..... 5 ~ 90%( 結露のないこと )

## 付属品

- リモコン( RC-14SA ) ..... 1  
 外形寸法( 幅 × 高さ × 奥行き ) ..... 44 × 17.5 × 239mm  
 質量( 電池なし ) ..... 175g
- 単四乾電池( SUM-4 ) ..... 2個
- アナログ接続コ - ド ..... 1組
- リモート接続コード ..... 1本
- 電源コード ..... 1本
- 保証書 ..... 1枚
- 取扱説明書( 本書 ) ..... 1冊

本機の規格および外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

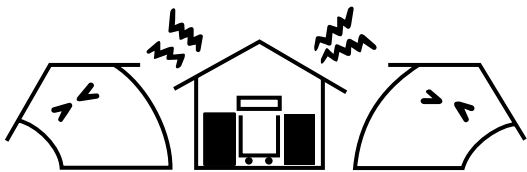
## お手入れ

- セットが汚れたときは柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは食器用洗剤を5～6倍にうすめ、やわらかい布に浸し、固く絞って汚れをふきとったあと、乾いた布でからぶきしてください。
- アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤など揮発性のものが付着すると塗装がはげたり、光沢が失われることがありますから絶対にご使用にならないでください。また、化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしておきますと変質したり、塗料がはげたりすることがありますのでご注意ください。

## ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への配慮(思いやり)を十分にいたしましょう。

ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽観賞には特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快適な生活環境を守りましょう。



## 著作権について

- 放送や、レコード、その他の録音物(ミュージックテープ、カセット、CDなど) 音楽作品は音楽の歌詞、楽曲などと同じく著作権法により保護されています。
- したがって、それから録音したテープを売ったり、譲ったり、配ったり、貸したりする場合、および営利(店のBGMなど)のために使用する場合には、著作権法上、権利者の承諾が必要です。
- 使用条件は場合によって異なりますので、詳しい内容や申請その他の手続きについては「日本音楽著作権協会」(JASRAC)の本部または最寄りの支部にお問い合わせください。

# 日本マランツ株式会社

本 社 〒228-8505 神奈川県相模原市相模大野7-35-1

お問い合わせは日本マランツ(株)お客様相談センターで承っております。

お客様相談センター 〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1-11-9

電話 (03) 3719-3481

ご相談受付時間 9:30～12:00、13:00～17:00

(土・日・祝日、弊社休日を除く)

修理に関しましては下記日本マランツ(株)各サービスセンター、各営業所で承っております。

国内営業本部	〒150-0022	東京都渋谷区恵比寿南1-11-9	電話(03)3719-2233
札幌営業所	〒060-0032	北海道札幌市中央区北二条東7-82	電話(011)231-5776
仙台営業所	〒982-0011	宮城県仙台市太白区長町3-7-13	電話(022)308-3566
東京マランツ営業所	〒150-0022	東京都渋谷区恵比寿南1-11-9	電話(03)3793-5721
神奈川営業所	〒228-8505	神奈川県相模原市相模大野7-35-1	電話(042)748-1245
名古屋営業所	〒465-0024	愛知県名古屋市名東区本郷2-75	電話(052)776-5073
大阪営業所	〒564-0053	大阪府吹田市江の木町2-3-1	電話(06)6337-6504
広島営業所	〒732-0814	広島県広島市南区段原南2-12-27	電話(082)262-1265
福岡営業所	〒812-0014	福岡県福岡市博多区比恵町1-18	電話(092)441-9131
東京サービスセンター	〒228-8505	神奈川県相模原市相模大野7-35-1	電話(042)748-0762
大阪サービスセンター	〒564-0053	大阪府吹田市江の木町2-3-1	電話(06)6337-6699